

第176回国際研修（オンライン実施）  
「包摂的な社会に向けた刑事司法」

1 日程及び参加者

- 令和3年11月15日（月）から同年12月9日（木）まで
- 海外参加者11か国17名

2 研修概要

本研修では、持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs）に刑事司法の観点から貢献することを目標として、①効果的な被害者支援及び②起訴前、公判及び判決の各段階における、犯罪をした者の再犯を防止し、社会への再統合を促進するための効果的な方策について集中的に議論します。

3 研修実施方法

新型コロナウイルスに関する情勢に鑑み、オンライン形式により実施します。

4 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う予定です。

【客員専門家】

- ヴェラ・カシェンコ氏  
国連犯罪薬物事務所 犯罪防止刑事司法担当官  
講義仮題「UNODCの活動と京都 kongress」
- ジョナサン・クーパー氏  
連合王国 イングランド ケンブリッジシャー 刑事法院判事  
講義仮題「英国における社会内処遇」

【外部講師】

- 武藤一誠氏  
警察庁長官官房教養厚生課犯罪被害者支援室 課長補佐  
講義題「警察による犯罪被害者支援」
- 本田裕一郎氏  
東京地方検察庁総務部社会復帰支援室長 検察官検事  
講義題「社会復帰支援室の取組」
- 富田さとこ氏  
日本司法支援センター本部国際室長 弁護士  
講義仮題「法テラスによる総合法律支援」